

八剣山通信

2011年12月1日発行
八剣山発見隊

フットパスルートの実地調査

八剣山発見隊では、八剣山周辺にフットパスのルートを設定するため2010年度から調査を実施しており、今年は6月から5回に渡って調査を行いました。その調査結果について報告いたします。

北海道札幌市南区砥山-goo 地図

地図 航空 画像 古地図 (東京)



http://ocnmap.goo.ne.jp/map.php?MAP=E141.21.25.410N42.59.13.710

2011/11/20

《第1回》

調査月日：平成 23 年 6 月 5 日 (日)

調査箇所：砥山ふれあい果樹園 →西本果樹園→八剣山
南登山口

砥山ふれあい果樹園から西本果樹園を通り八剣山南登山口までの道路は自動車を通れる道で、木々が道路に覆い被さるように生えていることから、森林浴には格好のルートでした。登山口から先の道は景観の優れたところですが、がけ崩れにより途中で岩にふさがれ通行不能です。また果樹園内をルートとして一般市民が自由に歩くことは管理上も問題があり、また別の地権者が間の土地を所有しているなど現時点ではそこをルートとすることは不適当な状況です。

《第2回》

調査月日：平成 23 年 9 月 19 日 (月)

調査箇所：八剣山果樹園→さとやま八剣山敷地

7年ほど前にさとやま八剣山により整備された散策路

は、これまで笹を刈るなどの整備が行われてきているため、痛んだ箇所は少なく、一部で散策路に水が流れ込んでいる部分や



上り坂の整備、倒木の撤去などを行うことで、そのまま使用することが可能なことが確認できました。

調査においては、散策路を歩きながら見ることができた沼や遠くに見える山々、道ばたに咲く花などを楽しみながら9月中旬に竣工した八剣山さっぽろ地ワイン研究所のブドウ畑に到着しました。

《第3回》

調査月日：平成23年10月1日（土）

調査箇所：桜井農園園地→豊平川河川敷

砥山栄橋 →豊平川河畔林

紅葉がはじまった山の麓には上から崩れたと思われる大量の石が転がって苔むしていたほか、その石を積み上げられている箇所も見受けられました。踏破ルートには、倒木もあちこちにあったほか、豊平川の河川敷まで降りるには3～4mほどの高さを降りる必要があるため、ルートを整備するにはかなりの時間と労力が必要と思われます。

続いて砥山栄橋から豊平川に沿って河畔林を進みましたが、河原が開けた箇所からは八剣



山が川の上にそそり立つ雄大な姿が見られ、さらに進むと八剣山の柱状節理が見られました。八剣山果樹園から流れる小川に沿って上がり、トンネルの出口直下に出ることができましたが、ここをルートとして設定することはかなり困難と思われる。

《第4回》

調査月日：平成23年10月22日（土）

調査箇所：小金湯温泉→砥山ダム・ダム湖周辺

小金湯温泉から砥山ダムまでの河岸のルートは雑草と笹に覆われ、歩くのに一苦労で整備は難しいと感じました。もう一つのルートである小金湯温泉からの私道と思われる道路は整備され、歩くには理想的なコースでした。定山溪方面に向けて歩くと畑も見られたほか、整備された庭園や建物も見受けられました。「リゾート黄金湯」と表札のある建物は、白樺などの木々の中に建つ別荘のようでした。ナナカマドの木々が立ち並ぶ道を国道に向かうと、国道のそばに「こ



ころの花記念碑街道」と彫られた石碑が建てられていたほか、池のある公園にも「こころの花記念碑」が建てられていました。

記念碑の近くには、鮮やかな赤色に染まったカエデが池に張り出すように立っていました。今回のルートは河岸の砥山ダムまでのルートを除いて、すぐにもフットパスのルートとして季節ごとに楽しめそうです。

《第5回》

調査月日：平成23年10月30日（日）

調査箇所：豊平川ファーム→豊平川（小金湯温泉手前）

豊平川ファームからは八剣山が正面に望めました。園路が途切れた箇所からは雑木林の中を通り、豊平川河川敷に到着。ここからは三角にそびえる焼山と欄干が赤く塗られた砥山栄橋が望めました。この時期の豊平川は水量が少なく、長靴を履いて浅い箇所を通って対岸へ渡ることができました。しかし河川敷には上流から流されてきた岩がごろごろしており、普通に歩くには適さないように思えます。豊平川の両側には細い雑木やヨモギが生える河岸段丘が続いており、それらを整理することにより十分に整備が可能であると思われるのですが、小金湯温泉までは川の両側に山が突き出していて不可能でした。小金湯温泉が見える箇所には上流部から排水施設が、川口には防護壁が整備されていたほか、排水施設の上には車両用の道路があり、そこは主に釣人が利用しているようです。今回歩いたルートは河岸段丘の上を少し整備することで、フットパスのルートとして利用できるものと思われます。



フットパスとは

イギリスには、フットパスと呼ばれる歩行者専用の道があります。総延長は22.5万キロで、牧場や森林などの田園地帯から海岸線や市街地の緑地帯まで、全土に網の目のように道が張り巡らされています。そこでは人が歩く権利（通行権）が法的に認められており、たとえ私有地であってもフットパスとして承認されていると、外国からの旅行者でも自由に通行できます。イギリス人にとってフットパスとは、歩きながら自然を楽しむレクリエーションの場であり、自由回帰のために必要な歩く文化といえます。

発行：八剣山発見隊（事務局長 瀬戸修一）

〒061-2275 札幌市南区砥山 84 番地

☎・FAX 011-596-2694

E-mail toyamafureai@gol.com

URL <http://hakkenzan.com/>